



みささ 議会だより

第90号 平成25(2013)年 4月号

主な内容…… 3月定例会の概要・一般質問

新しい施設に 大喜びの園児たち

4月3日に町内の保育園の入園式が行われ、「みささこども園」には97人の園児が入園しました。

町内小学校の今後のあり方

南小学校と西小学校を統合することが望ましい。
町内小学校の今後のあり方・・・教育委員会が報告
町長は、「重く受け止めている。」と回答。

平成25年3月13日に、三朝町教育委員会は「町内小学校の今後のあり方」について、町長に報告書を提出しました。

まず結論は、次の通りでした。

【結論は】

『南小学校の児童数が激減する平成30年までには、南小学校と西小学校を統合することが望ましい。また、東小学校については、今後、充実した教育環境の保障を含めて、保護者や地域の方々と意見交換を続けながら、統合の是非及びその時期を検討する必要がある。』という内容であった。

教育委員会は、この最終報告を出すのに、長い時間をかけて慎重に協議されたということであった。

ここで、この結論に至った経緯について見てみよう。

【結論に至った経緯は】

まず、少人数学級の限界があげられる。多人数がいいのか、少人数がいいのかは、いろいろと議論が分かれるところである。

しかし、少人数でも、一学年に一人しか在籍していないということは、もはや限界に達していると言っていいだろう。南小学校は平成30年には、全校生徒が20名ということもあり、教育委員会として、「限界」という判断をしたようである。

また、南小学校の保護者においても「統合すべき」という意見が多かったことも判断の基準になったと考える。

一方で、東小学校であるが、報告書では「統合については白紙」という判断をしている。その理由は、児

童数が、現状のまま維持ができることと、保護者、地域からは「統合に反対」の意見が多かったことが、判断基準になったようである。

【統合すると、課題も多い】

しかし、統合すると、課題も多いのは確かである。まずは、老朽化が著しい現在の西小学校の校舎で良いのか。

また、南小学校の子ども達の通学手段も大きな問題である。経済的な負担が増えることが予想され軽減策も考えなくてはならない。

そして、学童クラブ（学童保育）も現在の場所では、手狭になり、新しく確保していかななくてはならない。その他、いろいろな問題が予想される。

【全員協議会で報告】

3月19日に開催された、全員協議会で、教育委員会から全議員に報告があった。

これに対して、議員から、町長に、この報告についての考え方を問い、町長は「長い間、慎重に協議された結果であり、重く受け止めている。今後はこの報告書を尊重しながら、小学校のあり方について検討していく。」という答弁があった。

【今後は】

統合の時期や、学校の名称、通学手段や経済的な負担軽減などが、協議されていくことになろう。

議会としては、「三校同時の統合が望ましい。」という意見が多い。

希望としては今後の統合についての議論が、一部の内部の人たちが密室で行われるのではなく、広くオープンな形で、町民、保護者も含めて議論が展開されていくべきだと考える。

三朝町の子ども達が健やかに成長できる環境作りのために、議会も議論していかななくてはならない。



西小学校 児童数 276名



東小学校 児童数 40名



南小学校 児童数 32名

ブランナールみささの経営診断でる

平成24年12月定例会で示された「今後6年間の経営計画案」に対し、議会より「経営計画の前に経営診断をすべき」との指摘を受けて実施された経営診断が報告された。

診断先：鳥取県中部商工会産業支援センター

【総括】

支配人の営業努力により、近畿地方、中国地方のツアー客・合宿客を取り込んでおり、宿泊客数は一定水準を維持しているが、公営国民宿舎の目的である地元利用の会議、宴会、食事、入浴者数が落ち込んでおり、町民の「ブランナール離れ」が進んでいる状況にあり、町民のブランナールへの関心が薄れていくと益々利用が落ち込んでいくだけでなく、町民の厳しい視線を受けることになる。

そこで、国民宿舎の目的と存在意義の再確認をしておく必要があり、そもそもの設立の趣旨に立ち返った経営を行っていくことが必要と考える。

施設の使命（ミッション）を明確化させ、あらためて町や町民に示すことで経営の効率化なども可能になると考える。

また、単なる経営数値に表れない、施設の使命の達成度合いについての、政策的な評価を町・町民に求めることが必要ではないかと考える。

【総合提案】

- ・従業員の安心感や、やる気と一体感を醸成して、組織機能を高める。
- ・施設本来の目的に立ち返り、明確なコンセプトとターゲットの絞り込みを行い、営業方針を確立する。
- ・町民に良い意味で興味・関心を持たれる施設へと、三朝温泉における国民宿舎の存在意義を町・当館ともに再認識し、町全体で支える姿勢を明確にする。

今後の、方向性としては、債務償還は利益から捻出できない状況ではあるが、人件費などの抑制効果など



もあり、現状の売り上げでも償却前でわずかにマイナスであるが、借入利息や過去の退職手当負担を含めてのことであり、当面は経営改善を図りながら町営として継続するのが妥当である。

平成25年度において町の支援はすでに容認されているが、平成26年以降においても安定的な経営を図っていくためには出資継続は必要と考えるが、5年間無条件で町が同額の出資継続を約束してしまうのは性急であり、今後5年間の収支、債務返済計画を示した上で、計画数値を大きく下回ることがあった場合は、随時経営の見直しを検討する必要があると考える。

町制60周年である平成25年度一般会計予算

43億1,000万円を

地大豆(三朝神倉)生産振興事業 304,000円

本年度予算として認めないとした修正案を可決。

議会費は、議員の報酬や、議長交際費、議会だよりの印刷費や、議会事務局の人件費などです。

79,533,000円

総務費は、町長などの特別職の給料や、総務課職員の人件費、また、役場の建物や交通安全に関することや選挙費用に使われます。本年度は、三朝町制60周年の記念事業費も含まれています。

728,841,000円

民生費は、障がい者福祉や、老人福祉、児童福祉に関すること、保育園の運営に関すること等です。

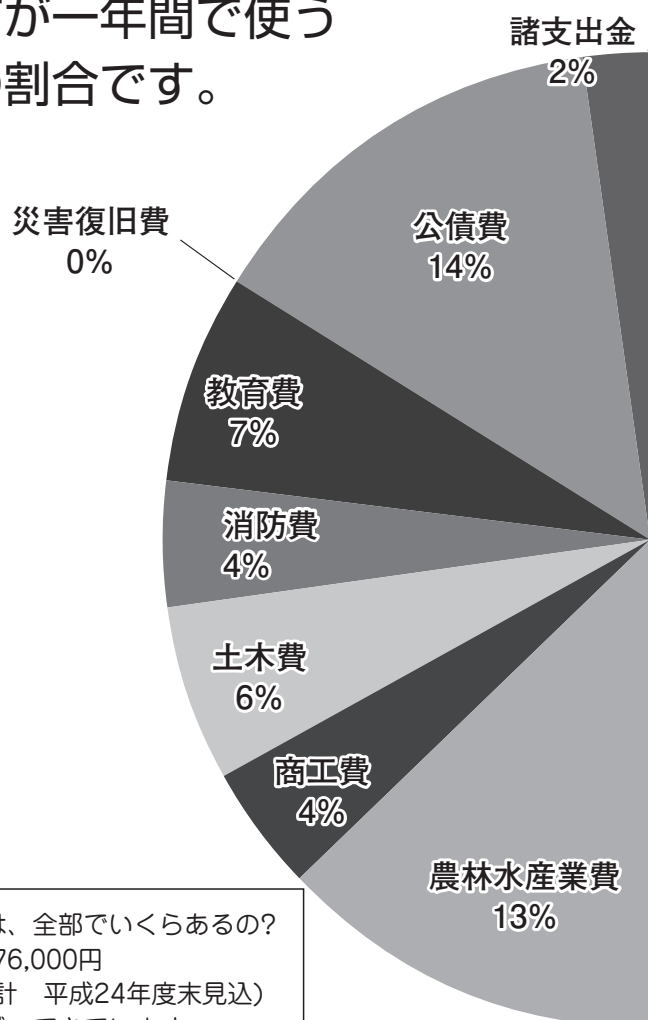
1,119,601,000円

衛生費は、ゴミ処理や妊産婦や健康対策にかかる経費です。

205,544,000円

皆さんの大切なお金が、無駄遣い

三朝町が一年間で使う
お金の割合です。



町の借金は、全部でいくらあるの？
4,220,076,000円
(一般会計 平成24年度末見込)
徐々に、減ってきています。

町長さん、議員の給与(年額)はいくら？

町長さん	年額	12,463,000円
副町長さん	年額	9,977,000円
教育長さん	年額	9,356,000円
議員	年額	3,580,000円(1人平均)

一部修正して可決

森林経営計画推進事業補助金 1,500,000円を

無く、使われることが大事です。



町制60周年の主な記念事業

- (1) 町報縮小版の作成
- (2) 「ヤマセミ」を探せ
- (3) 森の宝(滝・植物)を探せ
- (4) むらの宝(古文書)を探せ
- (5) 「町民まつり」の復活
- (6) 60周年記念式典の開催

農林水産業費は、農業委員会や農林業振興に関することや、猪の被害対策等に使われます。

562,476,000円

商工費は、商工振興や観光、公園管理等に使われます。

173,771,000円

土木費は、道路の維持管理や橋や河川の管理等に使われます。

241,445,000円

消防費は、消防署の負担金、消防団の報酬や活動費です。

176,367,000円

教育費は、教育長の給料や小学校・中学校の管理、各地区公民館の維持管理、文化財の調査費、図書館や世界遺産に関することに使います。

308,215,000円

公債費は、三朝町の借金です。

601,722,000円

3月定例議会

産業民生常任委員会

三朝米ブランド化支援事業について慎重審議



企画観光課

○町役場広告塔整備事業 1,250万円

事業説明

電光掲示板を備えた広告塔を役場庁舎入口周辺に整備する予定。

委員会意見

役場前の県道は、車が通過するだけの場所で、どれだけの町民あるいは観光客に見られるか検証する必要がある。

○バス路線維持対策費 3,500万円

事業説明

町内唯一の公共交通機関であるバス路線を維持する。

委員会意見

路線バスの維持は利用促進を呼び掛けても限界があるのでは。

農林課

○三朝米ブランド化支援事業 700万円

事業説明

特別栽培米（コシヒカリ）、きぬむすめの生産振興によるブランド化の推進と販売対策と堆肥を使った土づくりの推進。

委員会意見

きぬむすめのブランド化には疑問が残る。

コシヒカリも1等米だけに千円の助成というのも納得できない。JAに対して価格を上げることを求めるべきだ。

○地大豆生産振興事業 30万円

事業説明

プランナールで試験的に実施するもので、豆腐、納豆、豆乳の通常仕入れ品価格との差額を支援する。

委員会意見

これはJAが負担して販路拡大をすべきものである。

○森林経営計画推進事業補助金

150万円

事業説明

中部森林組合に森林施業推進員を配置して、林家や集落への働きかけを強めるため。

委員会意見

森林組合が実施する作業に対してのものであり、森林組合が負担すべきものと考える。

町民課

○みささこども園運営費 4,600万円

事業説明

新しく、みささこども園を開設し幼児教育を導入する事で、児童の保護、育成を図る。

委員会意見

当初入園予定104名、中途入所見込み9名となっているが、園児及び保護者のために、適切な運営に心がけていただきたい。

○ごみ処理経費 3,990万円

事業説明

廃棄物の収集運搬のための費用。

委員会意見

ごみ収集運搬業務委託は随意契約で行われているが、1社指名で不透明に見える。経費の削減等からも検討すべきではないか。

国民宿舎

事業説明

中部商工会産業支援センターによる経営診断について報告書で説明。さらに国民宿舎運営審議会（開催2回）の説明。

当面は公営で運営という結果。

委員会意見

1年1年が勝負だという事を職員全員が心を一つにして努力すべき。

建設水道課

○町道整備事業 1,680万円

事業説明

下河原荒尾線（岩崎前）の舗装を修繕し、利用者の安全性を確保する。

総務教育常任委員会

温泉街に防犯カメラ設置



危機管理課

Q チャイルドシート購入助成制度とは？

A 町内在住の新生児の保護者に対して、チャイルドシート購入の助成をするものです。出生届の時に窓口、この制度についてご案内します。

Q 三朝温泉街に、防犯カメラをつけることになっているが？

A 現在、3台と考えています。SDカードで自動的に更新するようになっています。

Q 消防団の再編については？

A 昨年から幹部会でも協議しています。出来るところから、ということですが話をしているが現在まだ出来ない。今年は是非やってみたい。

Q 町内の危険家屋は？

A 町内に22件あり、クリアしなければならぬ問題がいくつかあります。

Q 町内の避難場所について、早期に耐震診断すべきではないか？

A 今後、補正予算を組んでも、取り組んでいきたい。

教育総務課

Q 西小学校駐車場用地購入費だが、バス停の拡幅という名目で県に申請してみたらどうか？

A 研究させていただきたい。

Q 三徳山の世界遺産登録運動はこれからも継続の方向か？

A 継続して、運動を展開していきます。

生涯学習課

Q トレーニングセンターの屋根の修理が急ぐが？

A それも急がれるが、今回は耐震診断を優先して予算化をいたしました。

Q 陸上競技場を芝生化してはどうか？

A 管理費が増大となり、本年度は見合わせることにしました。

Q 青少年育成町民会議の予算は？

A ノーテレビダーの懸垂幕の購入です。

健康福祉課

Q 身体障がい者の通院補助は？

A バス運賃の2分の1。重度の方については、タクシー助成として、1回500円券を、月に2枚出しています。

Q 不妊治療の効果は？

A 昨年度、妊娠に結びついたケースが1件ございました。

Q 一人暮らしの緊急通報装置の現状は？

A 通報装置は、制限することなく設置していきたいと考えています。

一般会計審査特別委員会

委員長	福田 茂樹
副委員長	平井 満博
委員	山田 道治
	清水 成眞
	遠藤 勝太郎

平成25年度一般会計当初予算について、特別委員会を設置して町執行部に問題点を指摘した。

○森林経営計画推進事業補助金

委員会意見

事業の内容は、森林組合が行う事務事業の2/3を町が森林組合に助成するもので、これは本来森林組合が負担すべきものである。

○町役場広告塔整備事業

委員会意見

約1,200万円をかけて行政情報、観光情報など情報発信をする内容、役場前に作る必要性が全く感じられない。

○ごみ収集運搬業務

委員会意見

ゴミ収集運搬業務委託は随意契約で行われているが、見直す必要性は。

執行部回答

「廃棄物処理及び清掃に関する法律」でそれに適合する業者に委託をしているが、他町村の委託算定方法も研究する。

○地大豆（三朝神倉）生産振興事業

委員会意見

生産振興事業といいながら販売者への支援であって、生産者への支援になっていない。

執行部回答

ブランナールをアンテナショップとして位置付けて、試験的に一定期間PRをし、大豆の製品が売れることで、生産意欲も高めていきたい。

○文化ホールガラス改修工事

委員会意見

昨年、強風による破損により一部改修されているのに、新年度で全面改修の予算計上されている。

執行部回答

割れた原因は飛来物ではないかと思われる。今回、飛散防止のためのカーテンウォール部分の全面改修を提案している。

○ふるさと応援寄附金

委員会意見

寄附金の使途が明確にされていない。

執行部回答

現在、寄附金残高は816万円で、何かの財源としては使っていない。充当事業については、今回の当初予算後に充当先は提示したい。既存の事業にも活用したい。

○指定管理者との協定について

委員会意見

福祉センターの修繕に対する基金造成の補助金について、他の施設と同様の手法を取るべきではないか。

執行部回答

修繕のつど予算措置すべきかは、今後検討したい。

○三朝米ブランド化支援事業

委員会意見

考え方が生産者に向いていない。

執行部回答

特別栽培米の奨励金は、1等米に限定しないようにし、堆肥も支援していきたい。流通開拓等、販売戦略についても検討していきたい。

○移住定住推進事業

委員会意見

250万円の事業では、人口増加対策にはならない。

執行部回答

今後検討したい。

○図書館の空調設備改修

委員会意見

平成24年度で一部改修されたが、何故その時に同時にしなかったのか。

執行部回答

全面改修の提案をいただいていたが、対応が遅れてしまった。

(その他として、二つの意見が出された)

○町の責務としての社会教育推進の姿が見えない。

○多目的スポーツ広場の整備を考えるべき。

観光

問 冬場の河原風呂の温度低下をどのように考えておられるのか

答 観光協会や旅館組合を通じ、観光客などに周知していきたい

吉田

冬場の河原風呂や足湯の温度は、以前から取りざたされているが、この施設を管理する観光協会は、どのような対応、処置をしておられるか。

50度前後くらい。気温、源泉を補給するなど温度管理に努めていますが、特に低温が続くような冬場や夜間においては、常時適温を維持することは、なかなか難しい状況にあるのが実情でございます。

町長

三徳川の河川敷にあって、足湯とともに、みささ温泉の名所として観光客や地域の皆さまなど、多くの方々に親しまれてご利用いただいております。

この河原風呂は、夏場では

吉田

観光協会は、夕方4時ごろから夜9時ごろまで配湯しておられるが、観光客利用には夜11時ごろまで温かい湯を配湯できないのか。

また、河原風呂は、みささ温



吉田文夫議員

泉の有益には絶対欠かせないシンボルです。温度の下がる11月ころから3月までの利用者への対応について、観光協会と協議をしていただきたい。

町長

観光協会をはじめ、それぞれの関係の皆さんと話しあってみたいと思います。

観光

問 大阪からみささ温泉への交通アクセスの利便方法は適切か

答 みささ温泉への誘客を促進するためには、交通アクセスの利便性を高めることは重要だ

吉田

この交通手段は、平成20年3月の質問でも取り上げましたが、町長は今回も同じ答弁を繰り返されました。

私は、大阪より三朝温泉口を12時50分着、13時20分着、帰り8時50分、10時20分、この2往復便を、みささ温泉商工センター前まで乗り入れていただくよう運行会社に要請をいただきたい。

方は、JRなど他の交通機関と競合することを考えると、運賃と併せて時間短縮することを常に考えなければならぬということを言っておられます。

鳥取自動車道が、3月に全線開通しました。山陰道の工事も順次進んでまいりますと、改めて高速バス路線の見直しを検討されるかもわかりません。

粘り強く協議し、実現に向けて努力することをお願いしたい。

町長

熱心に、このことに取り組んでいただいておりますことに敬意を表します。いろいろな角度での質問をいただきましたので、検討をさせていただきます。

町長

高速バスの利便性を確保するためには、運行会社の考え

吉田

みささ温泉への乗り入れには、交渉相手との協議を重ね、

学校

問 学校評議員制度が設置されているのか

答 三朝町学校支援委員会設置要綱を制定している

平井

学校が抱える悩みは深刻であり、学校評議員制度は保護者や地域住民と連携協力して、一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていく観点からも、学校運営に寄与する必要な制度であります。

学校評議員制度を置く意思があるのか、この制度をどのように評価されているのか。

教育長

この制度は、学校、家庭、地域が連携協力しながら、地域に開かれた学校づくりを、より一層推進する観点から、町教育委員会としては、学校運営に保護者や地域住民の意

向を反映させる仕組みとしても重要な制度であると認識しております。

本町では、三朝町学校支援委員会設置要綱を制定し、国の定める学校評議員制度に対応しております。

学校支援委員会の委員の方々は、学校へ意見を述べることに加えまして、各集落での子どもたちの様子を学校に知らせて下さっているほか、学校行事へも積極的に参加していただいております。町内小・中学校の応援団であり感謝し、厚い信頼を受けておられます。

今後、さらに充実発展させていきたいと考えております。



平井満博議員

町長

この制度の趣旨を踏まえて、既に各小・中学校に学校支援委員会を設置し、地域住民の皆さまから学校運営等に関して、意見や助言をいただくような仕組みができていますので、今後もこの制度を十分に活用しながら、地域に開かれた学校運営に取り組んでいきたいと思っております。

出産

問 出産を支える制度を整えることが重要

答 支援体制の充実を図ることは行政の責務

平井

町内には、出産の取り扱いを行う医療機関がなく、住民は倉吉での出産を余儀なくされておりますが、全国の一部地域では、出産難民、お産難民といった言葉もささやかれている。町民を難民にしない手立てが必要だ。

分娩に伴う妊婦や付き添いの交通費、宿泊費について助成するなど、出産を支える制度を整えることが重要ではな

いか。

安心して産み育てる制度を充実しては。

町長

安心して妊娠、出産、育児ができるような支援体制の充実を図ることは、町民の皆さまが望まれることであり、行政としての責務であると考えております。

現在、出産をされた方には、経済的負担の軽減を図るため

に、出産育児一時金として、一律42万円が支給されております。

来年度の当初予算において、県内初の取り組みとなる産後健診、それから1カ月児健診として、子どもさんの1カ月のときの健診に対して2分の1を町で助成する制度を計上しております。

安心して子どもを産み育てる支援体制の充実を図ります。

ブランナールみささ

問 資金不足になり、経営が難しくなったということであるが？

答 経営診断報告書をもとに、あらためて経営改善等の見直しを行い、引き続き直営の公営企業として存続の努力をしていきたい。

清水

コンベンション機能が収益に結びつかなかったとあるが、このような評価になったのは何故か？

管理者

長引く景気の低迷やライフスタイルの変化などにより、近年は会議のみの利用にとどまることが多く、事業収益の増加のために行った施設改修は、結果的にブランナールみささの経営を圧迫する大きな要因となっているのが実情。

清水

キャッシュベースでの赤字が2年連続で推移している。この最大の要因は？

管理者

平成22年度は8月と9月の記録的な猛暑、また、年末から2月にかけての記録的な豪雪、さらに3月の東日本大震災により宿泊団体ツアーが相次いでキャンセルとなったこと。平成23年度は、湯治宿泊企画が好調で、宿泊者は増えたが、東日本大震災以来、全国的に旅行自粛傾向であったことなどから、収益に大きく影響する団体による宿泊、休憩ツアーのお客が予想以上に伸びなかった。

清水

2月に経営診断報告書が出されたが、今後、この報告書をどのように評価をされるのか？

管理者

この経営診断結果をもとに、改めて経営改善等の見直しを行いながら、引き続き三朝温泉唯一の公営宿泊施設として、存続すべき努力をして参りたい。

清水

今後のブランナールみささの具体的な戦略と方針は？

管理者

地域に愛される地域密着型施設としての利用拡大、積極的な情報発信、今後5年間の収支債務返還計画等を含めた長期的な経営計画を作成する。

清水

企業は人を育てることが最も大切である。新たにやる気のある職員を採用していくことも必要だと考えるが？

管理者

新規の正職員の採用についても検討していかなければならない時期にきている事は十分承知しておりますので、そ



清水成真議員

のことも含めて今後の経営戦略を考えてみたい。

清水

今年ブランナールみささは創立50周年になる。このような中、イベント企画など、若い人たちが企画運営し、集客につながるような支援会議などの組織をするのも良いのではないかと考えるが？

管理者

新たな企画として、町民の皆さんをはじめとして、今後より多くの皆様にブランナールみささを利用していただくための「ブランナール友の会」という企画を進めることとした。

清水

指定管理者制度を導入することについては？

管理者

他の施設を視察してきたが、指定管理者制度の導入が必ずしも経営改善につながっていないのが実情であった。私としては現時点では指定管理者制度を導入することは妥当ではないと考えている。

町 問 5期目の出馬がどうか

政 答 引き続き町政を担当したい

杉原

町長、議会とも、この秋には改選期を迎える。町長にあっては4期目の最終年であります。現時点で5期目の出馬については、どのように考えておられるのか。

また、5期目出馬ということであれば、その決意と本町の未来についての抱負を伺いたい。

町長

平成9年11月に町長職として、町政を担当させていただくことになり、4期16年にな

ろうとしている。この間、町民の安心安全を確保する事を常に頭に置きながら、町政の諸課題の解決を図り、三朝町の発展のため誠心誠意努めてきたところである。単独行政の道を選択したことを思う時、私は改めて、今後なお一層町長として努力していかなければならないと覚悟している次第である。

町議会の議員各位はもとより、町民の皆さまのご支援、ご支持をいただけるならば、引き続き町政を担当したく考えている。



杉原憲靖議員

第10次総合計画は、平成23年度から10年間の町政の指針となるもので、働く、住む、かかわる、つなげるの4つのキーワードを設定し、町民の皆さまと行政が協働して、真の豊かさを実感することができる町を目指していきたい。

町 問 本年度予算で、政策的予算の位置づけは

政 答 温故知新をキーワードに強い意志で諸課題に取り組む

杉原

平成25年度予算の考え方で、町政の課題に対し政策的予算の位置づけはどのように考えられたのか。中でも本町の行政課題である定住対策と雇用対策の充実は極めて重要な政策的課題である。

1市4町の定住自立圏構想を、より具体的戦略と考えて中部の活性化に向けた取り組みが必要であると考えているが。

町長

平成22年3月に定住自立圏形成協定を締結して、雇用の創出や、地域産業の振興を図るため、関係各市町が連携して取り組んでいる。

平成23年度には、倉吉市と湯梨浜町で各1社、平成24年度は倉吉市で5社の企業誘致が見込まれている。

雇用の促進や定住者を増やすことは、効果的な施策であ

る。引き続き1市4町が連携しながら取り組む。

三朝町の明日に期待

三朝温泉資源

問 温泉を利用した活力を生み出すべき

答 研究したり、あるいは新しい活力の創造に取り組みたい

山田

たまたま白い狼のおかげで温泉が湧いているが、温泉を利用した新しい活力源を模索し、あるいは既にある芽を大きく育てていかねばならない。

そのためには、健康と環境を切り口としなければと常々考えている。

まず健康に関しては、現代湯治の拠点である岡山大学医療センターが病棟閉鎖で弱体化している。

困難かもしれないが、看板を掲げている以上、町営でもいいかと考えている。

町長

今後医師会並びに、まずは岡山大学本部としっかり検討していかなければならないと思う。

山田

次に温泉発電についてですが、かつては地熱発電で2kmくらい掘らなくてはならないし、源泉の枯渇が問題になっていた。

今では温泉熱を使い、低温で発電でき、既に実用化されている。環境に優しい町としての町の活性化に役立つと思うが。

町長

県をはじめ、関係機関と話しながら、大いに情報を取り込んでいきたい。

山田

最後に、廃湯を使ったハイポニカ農法も環境に配慮した面白い取り組みだと思う。

この農法は、成長が速い、収穫も3～4倍、甘くて栄養価が高い、無農薬栽培、スペースが小さくてよい、連作障害



山田道治議員

もないという優れたものである。

町独自でもよいし、どなたでもよい。是非取り組んでいけたらと思う。

町長

昨年12月に温泉効果について鳥取大学と日本原子力研究開発機構が共同研究をし、その成果を発表した。

この研究成果を生かした栽培システムを推進していくことで、三朝温泉水を使った新ブランド野菜を商品化していくことに取り組んでいきたい。

新年度は農家の方に試験的に栽培していただくよう調整している。

「議会報告及び町民との懇談会」を開催します

三朝町議会は、昨年より議員が直接町民の皆さんに対して議会の報告活動を行う、「議会報告会」を開催しています。昨年は4月と10月の2回、総合文化ホールで開催しました。

今年は、議会報告会と併せて町民の皆さんと意見交換する懇談会を、各地域協議会のご協力のもと各地域に出掛けて開催しますので、多くの町民の皆さんの参加をお待ちしております。

(現在決定した地域)

①対象地域：竹田地域

日時：5月8日(水) 午後7時より

会場：竹田公民館

②対象地域：三朝地域

日時：5月15日(水) 午後7時より

会場：みささ村公民館

③対象地域：賀茂地域(以下で調整中)

日時：5月16日(木) 午後7時より

会場：本泉交流センター

④対象地域：三徳地域

日時：5月21日(火) 午後7時30分より

会場：三徳センター

内容：3月定例議会の報告(平成25年度当初予算審議状況について)町民の方との懇談会

問い合わせ先：三朝町議会事務局 TEL：43-3511

または、各地域協議会事務局

2月16日開催
9人が一般質問

夢 子ども議会

質問者・岩山菜月さん

西小学校前の横断歩道の位置が通学に危ないです。横断歩道の位置を動かしていただきたい。

《答》安全に通学できるよう横断歩道の位置を移動し、併せて横断歩道の近くに照明灯が設置されます。

質問者・栢本実夕さん

近年、三朝温泉の観光客が減少しています。家族で気軽に行ける温泉施設を建設してください。

《答》三朝温泉には近年、たまわりの湯、株湯などの公衆浴場が新装したほか、日帰り入浴ができる旅館、ラドン熱気浴施設などもあり町全体をPRすることが大切だと考えています。

質問者・福田俊介さん

屋内プールを造っていただいで気温が低い日でも泳げるようにしてほしい。場所はみんなが行きやすい役場周辺がいい。

《答》鳥取県中部には、三朝町からも近いところに温水プールがあり、これらの施設を使うこともよいのでは。また、いろいろなスポーツに親しんでほしいと思います。

質問者・米原風助さん

三朝町から倉吉市にかけて、道路沿いにガードレールを設置する必要があります。冬にスリップして道路から落ちている自動車が何台もあります。

《答》この区間は設置基準からガードレールの設置が困難です。なお、倉吉方面に向かって川沿いに歩道を設置してもらうよう県に要望しています。この歩道ができれば安全に通行できるようになるでしょう。

質問者・松田雄士さん

小学校を統合してしまうと学校の特色が失われ、個性を生かした教育が受けられなくなると考えられます。私は統合に反対ですがどのように考えておられますか。

《答》教育委員会では、地域のみなさんや学校保育園の保護者のみなさん、学校の先生など、多くの人と話し合いをされてきました。この結果について議会のみなさんとも相談しながら、小学校のあり方について結論を出したい。いずれにしても三朝町の子どもたちがたくましく成長できる環境づくりに努めます。

質問者・木下 光さん

10年前と比べるとバスの便数が減少しています。小中学生や高齢者がよく利用するバスの便を守ることは大事だと思います。

《答》バス路線の運行に必要な費用をバス会社に補助しています。路線バスの維持には多くの方に利用していただくことが必要です。今以上に便数が減らないような様々な機会に家族の方々と利用していただきたいです。

質問者・石谷光平さん

大瀬のバス停には屋根がありません。ベンチもぼろぼろです。バス停に屋根をつけ、ベンチも新調していただきたいです。

《答》設置者の鳥取県に確認したところ、3月までに修理するということでした。ベンチについては交通安全協会三朝分会のみなさんが設置されていますので、関係の方々と協議します。

質問者・中尾歩輝さん

通学路に街灯が少ない場所があります。冬は帰る時間には暗くて街灯が必要だと思います。

《答》街灯については設置費用の一部を補助するルールとなっていますので、集落のみなさんや学校の関係の人たちと協議してみます。通学路の安全確保は重要なことです。

質問者・津村莉那さん

三朝町を元気にし、人口を増やす動きが必要だと思います。三朝町に住みたいという人を受け入れる制度が必要ではないでしょうか。

《答》人口が減少している三朝町にとって、三朝町に住みたいという人を受け入れる対策は重要です。空き家バンク事業、三朝町すまいる応援事業などの取り組みを進めた結果、三朝町に住まれた方もあります。今後も「ターン・リターン」の促進に努めます。



[illegible]

※牧田武文議長を除く11名の賛否状況です。

件 名	提 出 者	審査結果
安倍内閣にＴＰＰ（環太平洋連携協定）への参加断念を求める意見書の提出を求める陳情	農民運動鳥取県連合会 代表者 今本 潔	趣旨採択
年金2.5％の削減中止を求める陳情	全日本年金者組合鳥取県本部 中部支部長 平井 隆	趣旨採択
「生活保護基準の引き下げをしないこと」の意見書提出を国に求める陳情	鳥取県生活と健康を守る会連合会 会長 中川 淑	不採択
生活保護費の基準引き下げをしないよう国に求める意見書提出の陳情	鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田 安一	不採択

今年の冬は、昨年に比べて雪の少ない状況であった。しかし、東北や北海道地方では記録的な豪雪に見舞われて、死者まで出る状態であった。

あつという間に一月、二月、三月が過ぎて、新しい年度へと時は過ぎた。

時の進み具合は、年齢とさほど関係が無いように思うが、年を重ねるたびに早いように思えてならない。

新学期がスタートし、新しい学年、あるいは社会人として、新しい気持ちで人生の節目の一步を踏み出す人もいると思う。体験、経験のない環境の中で自分をどのよう磨き、人格形成への価値の創造へと前進させるのか、ともかくも若い人の力に期待したい。

「求道心」という言葉がある。読んで字のごとし、道を求める心の事である。この事は年齢に関係なく、人それぞれに通じることではないだろうか。健常者も障がいを持つ人も自分が目指す目標に向かって生きることの大切さを、新しい年度の節目にあたり思う今日の頃。

（杉原憲靖 記）

発行責任者 議長 長 牧田 武文

編集 議会 委員会 杉原 憲靖

副委員長 清水 成眞

委員長 横木 文雄

委員 吉田 文夫

委員 遠藤勝太郎